

- ・ WCC機関名 (WCC No) : 国立感染症研究所・インフルエンザ・呼吸器系ウイルス研究センター (JPN-64)
- ・ WCCのTOR : Reference and Research on Influenza

Global Influenza Surveillance and Response System (GISRS)における SARS-CoV-2に関する協力

1) 事業の背景と目的

GISRSは、WHOを中心とした国際的なインフルエンザサーベイランスネットワークであるが、COVID-19はインフルエンザと同様に呼吸器感染症であることから、WHOはGISRS内のNational Influenza Centre (NIC) に、インフルエンザウイルスだけでなくSARS-CoV-2の検出のための検査およびウイルス全ゲノムシーケンス (WGS) を実施するように呼び掛けた。我々は、感染研内の他部と協力し、早期にSARS-CoV-2の検出系を立ち上げ、またSARS-CoV-2のWGSを整えた。

2) 事業の概要

- NICへのSARS-CoV-2の検査系の提供
- NICモンゴルからSARS-CoV-2陽性臨床検体（抽出RNA）を受入れ、WGSを実施し、モンゴルでのウイルスの流行状況の把握のサポート
- NICモンゴルからの3名のスタッフを受入れ、WGSの研修を実施（WPROの協力）
- モンゴルでのWGSのtry and errorに対するサポートを継続（WPROの協力）
- NICミャンマー、NICネパール、NICラオスからのインフルエンザウイルス陽性検体の受入れ。分離ウイルスの性状解析の実施

3) 今後の予定

- 希望するNICに対するWGSの研修の実施およびサポート（SARS-CoV-2およびインフルエンザウイルス）
- インフルエンザウイルスに関する解析